

平成30 後期 (1) 国語 正答表

備考欄			
3	3	2	8
配点			
問三	問二	問一	第三問
(例) 簡単など ところから始めると (十二字)	エ	ウ	

備考欄									
3	5	3	3	3	3	2	2	24	配点
配点									
問七	問六	問五	問四	問三		問二	問一	第二問	
エ	(例) 仮説を立てるときも、実験を行うときも、よく理屈を考えて確実性をより高めていくこと。 (四十一字)	ア	エ	(二)	(一)	イ	ウ	イ	言葉でしか表現できない

備考欄									
3	5	3	3	3	3	2	2	24	配点
配点									
問六	問五	問四			問三	問二	問一	第一問	
エ	(例) この日の昼食のおいしさに感動し、思いがけずたくさん食べて、味にも量にも満足したから。 (四十二字)	(三)	(二)	(一)	全然違う食べ物	イ	ウ	ばあちゃんが漬けた	(例) 納得 食感と味

備考欄												
漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。												
20	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
配点												
第五問	問二				問一					第四問		
人を感動させる	(四)	(三)	(二)	(一)	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
	(例) ご覧になります	ウ	ア	ア	包 ホウ 装 ソウ	念 ネン 頭 トウ	針 ハリ	洗 アラ	申 しん 請 せい	旋 せん 律 りつ	おごそ 廠 (かな)	うなが 促 (す)
	5点			15点								

- △採点の基準▽
- 1 内容及び表現について
俳句について豊かに想像し、選択した理由が適切に表現されているか。 15点
 - 2 表記について
 - (1) 誤字や脱字はないか。 5点
 - (2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。
 - (3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。
 - (4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。
 - (5) 原稿用紙の使い方は正しいか。
- △留意事項▽
- 採点は、前記の採点の基準1、2によることとするが、次の点についても留意すること。
- (1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。
 - (2) 選択した記号の記載がないものについても、いずれかの俳句と関連する内容が書かれている場合は、採点の対象とする。
 - (3) 表記の誤りについては、前記の採点の基準の2によって適宜減点する。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点